



### 大石紬伝統工芸館がオープン!

大石小学校の西側に古民家の一部を改修して建築していた大石紬伝統工芸館が完成し、4月28日に竣工式が行われました。大石紬の手織り技術の後継者育成の場としてまた、草木染め実演や、織物体験ができる施設を備え、観光客の体験教室などの受け入れができる、地域住民と観光客の交流施設となっています。



### 与勇輝さんが黄綬褒章の受章をされました。

2009年春の褒章受章者には個人704人と24団体が選ばれたと発表がありました。町の特別町民であり、河口湖ミュージアムで常設展示を行っている与勇輝さんは、黄綬褒章の受章となりました。黄綬褒章はその道一筋に励み、第一線で業務に精励している方で、他の模範となるような技術などを有する方を対象とするもので、ゆかりのある町としても荣誉あることとして喜ばしいことです。おめでとうございました。

### 県知事と直接対談を行いました。

県では、県民とともに知事が直接、県の現状や将来、県政の施策全般について、普段着の対話を行う「県政ひざづめ談義」を行っています。4月28日には、町の子育て関係者と子ども未来創造館で、対話テーマを「充実した子育て環境づくりの方策」として意見交換を行いました。参加した皆さんは、町で活躍している子育て



関係者団体「FKはんず、ちびっこプレイパーク、ファミリーサポートセンター、ひまわり、魔女の宅急便」から15名の方々が子育ての現状などを話して、様々な要望や活

## ふるさとガイドの会から【富士山の自然観察】のお知らせ 大室山の原生林と、 青木ヶ原樹海の洞窟を見に行こう!!

コース

鳴沢道の駅～精進湖登山道富士風穴入口～富士風穴～大室山原生林～本栖第一風穴～本栖第二風穴～樹海を歩いて

日時 6月27日(土) 小雨決行  
9:00(集合出発) 解散は午後2時頃を予定しています。  
集合場所 鳴沢道の駅富士山館前  
定員 20名(先着順)  
服装 長袖シャツ・長ズボン・帽子・手袋・履き慣れた靴  
持ち物 雨具・弁当・飲み物・おやつ  
参加料 無料(保険は各自で対応)  
講師 長山吉雄氏  
申込み 6月24日(水)までに電話でお申込ください。  
富士河口湖町観光連盟(役場観光課内) 山本まで  
電話 72-3168

発な意見交換で予定時間を越えての対談となりました。知事は、一人で子育てを苦勞している母親など、外に出てこられない方に対する取り組み方法など機材に富む意見や過度のサービス提供の難しさなど大変参考になりました。また、障害児者対策などの県内地域間の格差は正しく調査してできるだけ意見を実現できるようにしたいと話されました。



## 児童手当現況届の提出は 6月中旬に忘れずに

### 現況届日程

地区	日時	場所
勝山 足和田 小立	6月18日(木) 午前9時～1時30分	勝山ふれあい センター
船津 河口 大石	6月18日(木) 午後1時30分～4時30分	町役場ロビー
精進 本栖	6月19日(金) 午前9時30分～1時	精進出張所
富士ヶ嶺	6月19日(金) 午前9時30分～1時	上九一色 出張所

### 添付書類

印鑑 健康保険被保険者証の写し  
平成21年1月1日以降に転入された方は、児童  
手当用所得証明書  
その他、必要に応じて提出する書類があります。  
問合せ  
総合窓口課児童手当担当 72-1114

## 地震に備えての木造住宅の 無料耐震診断及び 耐震改修補助のお知らせ

3 阪神・淡路大震災における死者6,400余名の約  
8割は、住宅の倒壊等が原因とされています。

また、能登半島地震、中越沖地震でも特に古い木造  
家屋の倒壊が目立ち、多くの人的被害が確認されてい  
ます。現在、切迫性の高い東海地震や活断層による大  
規模地震の発生が想定され、建築物の耐震化は喫緊の  
課題となっています。

町では、木造住宅の無料耐震診断及び耐震改修の補  
助を実施することで、住宅についての安全性を高めて  
いただき、安全で暮らしやすいまちづくりを進めてい  
きたいと考えております。

### 木造住宅の耐震診断について

#### 1 内容

木造住宅の安全性を確認するための無料耐震診  
断。(費用については町が負担します。)

#### 2 対象住宅

・昭和56年5月31日以前に着工された木造2  
階建て以下の住宅。

・併用住宅の場合は、述べ床面積の過半が住宅と  
して使用されている住宅。

上記の条件を満たしていても規模・仕様等で対象  
にならない場合がありますので、申込み時にご確  
認下さい。

### 木造住宅の耐震改修補助について

#### 1 内容

木造住宅を耐震改修する際に、町が費用の一部を  
負担する補助事業。

#### 2 対象事業

・木造住宅耐震診断の結果、耐震化の必要がある  
と診断された住宅を耐震改修する事業。

#### 3 補助金額

・最大で80万円まで。(高齢者世帯、障害者世帯  
等については最大で100万円まで。)

上記以外にも諸条件がありますので詳細につい  
ては事前にお問い合わせ下さい。

問合せ先 都市整備課 都市計画係 72-1976

## 交通災害共済に加入しましょう!

最近ではさまざまな保険などが取  
り扱われていますが、低額な金額で  
加入でき、交通事故によるケガ等に  
対し見舞金が支払われるので、お守り代わりにと加入  
する方がたくさんいらっしゃいます。ご家族そろって  
加入しましょう!



共済期間 加入した翌日から平成22年3月3日まで

共済掛金 1人年額500円

見舞金 交通事故による災害に対して支給。最  
高で死亡時100万

問合せ先 管理課防災係 72-6013

## 定額給付金・子育て応援特別手当 交付金についてお知らせ

定額給付金・子育て応援特別手当交付金の支給をし  
ております。

定額給付金は、申請の受付期間内に申請が行われな  
い場合、支給できなくなってしまうので、未だ、支  
給の申請をしていない方は、早急に申請書を町役場企  
画課定額給付金係まで提出していただくようお願い  
します。

なお、申請書が未だお手元に届いていない方は、ご  
連絡ください。

また、申請書に通帳コピーの添付を忘れた方も同じ  
く、提出していただくようお願いいたします。

問合せ先 企画課定額給付金係 72-1129

## 統計調査員の募集!

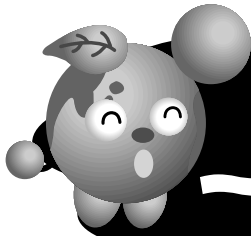
町では、各種統計調査に従事する統計調査員を募集  
しています。

業務内容:各種統計調査の調査票の配布や回収・  
整理等

募集期間:随時

募集要件:調査で知り得た事など、個人情報の保  
護が守れる方

問合せ先:企画課 地域情報係 72-6023



## 環境課からのお知らせ

# 『粗大ごみ』を収集します

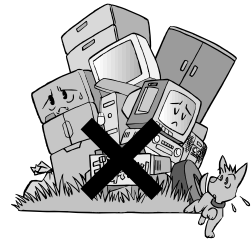


### 収集できるもの

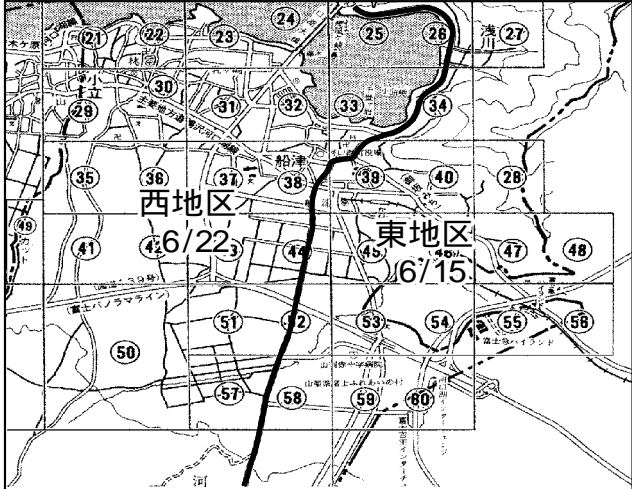
- ・家具、机、椅子・ふとん、毛布(テープ、ひも等で縛る)・ジウタン(1m角以下に切り縛る)
  - ・たたみ・角材、丸太(1m以下に切り縛る)・家電製品(テレビ、冷蔵庫及び冷凍庫、洗濯機及び乾燥機、エアコンは除く)・ワープロ(パソコンは除く)・自転車、石油ストーブ、ガスレンジ、トタン等
- 農耕用機械等はじん芥処理場(河口清掃事業所)へ直接搬入してください。

### 収集できないもの

- ・テレビ、冷蔵庫及び冷凍庫、洗濯機及び乾燥機、エアコン(家電4品目)家電リサイクル法に基づき購入店か買替店へ依頼する)
  - ・パソコン(当該製品のメーカー等に回収を申し込む)
  - ・オートバイ(登録販売店又は指定取引窓口へ依頼する)
  - ・自動車等のタイヤ、ガスボンベ、消火器(専門の処理業者に依頼する)
  - ・廃油、薬品、塗料の入っている缶(専門の処理業者に依頼する)
  - ・建設廃材(産業廃棄物を取り扱う処理業者に依頼する)
- 事業活動により発生した「粗大ごみ」は収集しませんので絶対に出さないください。



### 収集日程及び収集場所

観	船津・浅川地区 (船津登山道～農協前 ～旧役場～船津三叉路 ～御坂みちのルート から <u>東側の地区</u> )	6月15日(月)	<p>午前8時30分までに「ごみステーション」へ出してください。</p> <p>船津・浅川地区は2日間に分かりますのでご注意ください。</p> 
	足和田・上九一色地区	6月19日(金)	
	船津地区 (船津登山道～農協前 ～旧役場～船津三叉路 ～御坂みちのルート から <u>西側の地区</u> )	6月22日(月)	
	大石・河口地区	6月26日(金)	
	勝山地区	6月30日(火)	
	小立地区	7月3日(金)	

収集できる粗大ごみは「じん芥処理場」(河口清掃事業所)へ直接搬入できますのでご利用ください。(平日午前9時～午後4時・土曜日午前9時～11時また、上九一色地区にお住まいの方は「ごみ収集日」でお知らせした日程で出してください。)

# みんなで止めよう温暖化 家でできる温暖化対策

恵み豊かな環境を次代に引き継いでいくためには、私たちの生活を見直し、二酸化炭素の排出を減らすために積極的な取り組みを行ないましょう。  
まず、取り組みのできるものから始めてみましょう。



<p><b>生ごみは、しっかり水切りをしてからごみに出しましょう</b></p> <p>生ごみは水を切れば約20%は軽くなります。また、一晩置くだけでも乾燥し軽くなります。</p>		<p><b>電気はこまめに消しましょう 電源もこまめに落としましょう</b></p> <p>電気製品は、使わない時はコンセントからプラグを抜きましょう。電気製品の中には、コンセントがつながっているだけで待機電力を消費するものもあります。</p>	
<p><b>ごみは正しく分別し、リサイクルできるものはリサイクルしましょう</b></p> <p>ごみは分別すれば資源になります。資源物として分別すればごみの減量になります。</p>		<p><b>自動車に乗ったとき エコドライブに心がけましょう</b></p> <p>長時間のアイドリングや急発進、急停止は避けましょう。大気汚染物質の排出削減にも寄与します。</p>	
<p><b>買い物袋を持参し、簡易包装を希望しましょう</b></p> <p>余分な包装等は断わり、無包装等で済ませましょう。買い物袋を持ち歩けばレジ袋を減らせます。</p>		<p><b>地産地消(地元で作ったものを地元で消費する)のものを選びましょう</b></p> <p>同じ食材・食品でも、産地から食べられるところまでの距離が遠くなれば、それだけ輸送や保冷に使われるエネルギーも多くなります。地元で作られた新鮮で安心できる農産物を選びましょう。</p>	
<p><b>風呂の残り湯を洗濯に使いましょ</b></p> <p>お風呂の残り湯を洗濯に再利用して水の量を節約しましょう。お湯は水より洗浄力が強く、洗剤も溶けやすいので少ない量で済みます。</p>		<p><b>外出時にはできるだけ車に乗らず、公共交通機関等を利用しましょう</b></p> <p>通勤や買い物の際にはできるだけバスや電車、自転車等を利用しましょう。歩いたり自転車を使う方が健康にもいいですよ。</p>	

## 家庭を守る防災対策 Part28

### [初期消火の大切さ]

もし火災が発生したら、火が小さいうちに消火すること(初期消火)がとて重要になります。まずは何より『落ち着いて行動』しましょう。

大きな声でまわりの人に知らせ、協力してくれる人を呼びましょう。

消火器を使いましょう...1人で消火活動ができるのは、消火器です。

使い方はとても簡単で、レバーを引き抜き、ホースを火元に向けて、レバーを握るだけなので、家族みんなで使えるように日頃から使い方を確認しておきましょう。

消火栓を使いましょう...町のいろんな場所に設置されている消火栓も、初期消火に役立つものです。ホースをつなぎ消火栓に結合し、筒先をつけます。筒先をしっかりと持っていることを確認できたら、消火栓上部に取り付けたハンドルを反時計回りに回します。

消火栓は1人では使用できませんが、使用方法は簡単なので女性でも使うことができます。

消火器や消火栓は、消防車が到着するまでの間に自分たちで被害を最小限に食い止めることができるものです。これらを使わずにいて大惨事になってしまつては大変です。

地区防災訓練や総合防災訓練において消火訓練が行なわれます。積極的に参加し、もしもの時に慌てずに行動できるようにしましょう。

# 初期消火が肝心



# IVVOlympiad

「勝ち負けのないスポーツの祭典」国際市民スポーツ大会第11回IVVOオリンピックアードは、5月14日～17日の4日間、河口湖総合公園をメイン会場に、海外22の国と地域から約740人を含む約9700人が参加し、盛大に開催されました。参加者数は延べ26401人を数えました。



開会宣言 実行委員長・町長

大会を通じて、友情の輪を広げ世界平和に貢献できることを願いますとあいさつしました。

横内県知事は、アジア初の大会が山梨で開催できることを誇りに思い、世界文化遺産登録を目指す富士山の麓へ歓迎しますとあいさつしました。

開会式典では、各地域の3B体操指導者によるの特別公演が披露



3B体操演技

町長は、晴天に恵まれ歓迎する富士山のもと雄大な自然と文化を堪能して頂き、

開会の宣言を告げ、大会の成功と、参加者の安全を見守る聖火は、5月5日から10日間、東京都を出発して県内各地を河口湖ウオーキング協



旧芦川村から仮称若彦路トンネルを抜けて運ばれた聖火



会代表中村謹吉氏（のメンバーを中心に）で開会式会場のステラシアターに運ばれました。



富士五湖舞踊友の会による舞踊

されました。音楽にあわせてストレッツチなどを行う演技に盛大な拍手が送られ、観客席約3800人も一緒に汗を流す場面もありました。

開会式に続くアトラクションでは、西浜中学校生徒による太鼓の演奏や、日本の琴で、ヴァイナルデイの「四季」

より春を演奏し、西洋音楽とのコラボレーションが披露されました。

大会2日目は、河口湖会場ではウオーキング5、10、20、42・195 コース、サイクリング林間コース、スイミングなどが行われました。参加者は小学生を含め9703人を数え、それぞれ自分にあつたメニューに挑戦し、快晴の下、雄大な富士山を満喫していました。



スタート



が参加しました。勝ち負けのないスポーツは、自己への挑戦でもあります。



国際交流も行われました



小学生も参加：八木崎公園



チェックポイントで富士を望む

3日目はあいにくの雨模様でした。その中でも、ウォーキング、サイクリング、3B体操などが行われ多くの方

閉会式では、大会名誉実行委員長橋本聖子外務副大臣

最終日には、心配された雨はほとんど降らず、時折曇の間から日が射し、大会の成功を祝福しているようでした。

ノルディックウォークは運動効率をアップし、4足歩行の効果で、転倒の抑止効果にもなりウォーキングを安心して行えます。

内を歩きました



最高齢の参加者

福島県西会津町からは大会最高齢の佐藤キーンさん100歳が出場。毎日2のウォーキングを欠かさないと話し、しっかりと足取りで園



ノルディックウォーク

してあいさつしました。大会組織委員会宮下充正会長が、雲に隠れた富士山が別れを惜しんでいるとあいさつをしたのに続き、IVV会長ヨセフ・ギグル氏は大会スタッフ・ボランティア2000人にねぎらいの言葉と日本の大会参加者と友達になれたことに感謝の言葉伝え、閉会の宣言をしました。そして、次回の開催地トルコ・アンタルヤ市へ大会旗が引き継がれました。

は、オリンピック選手時代にトレーニングに励んだ思い出のある地である第2の故郷、河口湖の地で世界大会が成功したことを、感慨深い想いと



フィニッシュ! みんなで完歩



IVV会長

# 健康のまちづくり

「歯磨き、検診、丈夫な歯、元気な体基礎となる」(健康のまちづくりスローガン入選作品)

「虫歯予防デー」6月4日(木)「歯の衛生週間」6月4日(木)から6月10日(日)までの1週間

永久歯は生え変わりません。虫歯を予防して歯を大切にしましょう。

虫歯を予防するには、歯みがきがとても大切です。食べものの残りが口の中に残っている時間が長いほど、虫歯の原因菌が増えて虫歯になりやすくなります。食後はなるべく早く歯をみがく習慣をつけましょう。

また、繊維の多い食べものには歯をきれいにする効果があり、よく噛むことで出る唾液は、菌がつくる酸をうすめる効果がありますので、バランスの良い食事をよく噛んで食べることも大切です。



「家族でおはよう しっかり朝ごはん」(健康のまちづくりスローガン応募作品)

「食育月間」6月1日(月)から6月30日(火)までの1か月間 「食育の日」毎月9日

《食育月間重点事項》(抜粋)

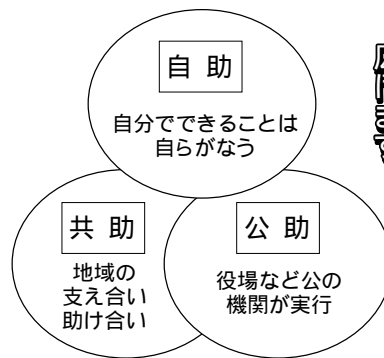
- 1 食を通じたコミュニケーション  
食を楽しみながら食事の作法・マナー、望ましい食習慣や知識を習得しましょう。
- 2 バランスの取れた食事  
「食事バランスガイド」を活用しましょう。
- 3 望ましい生活リズム  
基本的な生活習慣を身につけて生活リズムを向上させましょう。
- 4 食を大切にす気持ち  
自然の恩恵や食に関わる人々への感謝と理解を深めましょう。
- 5 食の安全  
食品の安全性に関する関心を高め、食品での窒息事故の危険性について理解し、よく噛んで食べる習慣を身につけましょう。



## 社協だより

今年度も、地域でふれあいの輪を広げます！

### 三者の役割分担と連携



富士河口湖町社会福祉協議会では、住民参加による近隣同士で支え合う「小地域福祉活動(ふれあいのまちづくり事業)」を推進しています。今年度も、各地域の創意と工夫により、特性を活かした活動を開始しています。

- 河口地区**：『河口地区ボランティアピア』設置。高齢者や障害者等への病院送迎、お使いサービス実施。
- 大石地区**：『大石福祉推進会』設置。高齢者サロン「いきやあり会」実施。
- 小立地区**：八町屋区：ヨモギ饅頭作り体験教室で、子供とお年寄りの交流。
- 船津地区**：区毎で取り組み、地区公民館等を利用し高齢者サロン実施。
- ひばり区**：ひばりやすらぎ会
- 湖南区**：湖南町共助会
- 富士桜・スバル区**：富士桜・スバルいきいき会
- 富士見区**：富士見町なごみ会
- 浅川区**：浅川健康体操の会

### お知らせ【受講者募集】

#### 「ガイドヘルパー養成講習会」

重度視覚障害者(20時間8000円)  
重度脳性まひ者等全身性障害者  
(16時間8000円)  
実施予定：7月14～23日(6日間)  
場 所：山梨県ボランティアセンター  
申込み・問合せ先：山梨ライトハウス  
(電話)05522223502

#### 「親なき後の課題フォーラム」

日 時：6月27日(土)10時～4時  
場 所：春日居あぐり情報ステーション  
内 容：講演(地域における後見のあり方)  
成年後見劇 等  
申込み等：笛吹市社協支援センター  
(電話)0552631777

お詫びと訂正(5月号)  
11ページ「社協だより」  
福祉・ボランティアの集い  
誤：参加者募集  
正：開催しました  
お詫びを申し上げますと共に、訂正させていただきます。